



4月10日(月)に始業式、12日(水)に入園式を行い、令和5年度平田幼稚園の生活がスタートしました。子ども達は全員で33名。昨年度よりも少し減りましたが、元気で笑顔と賑やかさは変わりません。今年度も、子ども達が『楽しかった!』『また明日も遊びたい』と思えるように、子ども達の気持ちの揺れ動きや学びの過程を大切にしながら、一人一人の育ちをしっかりと支えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

この園長だより『きらりん えがお』は、私の目から捉えた子ども達の姿や各クラスの育ち、私が感じたことなどをお伝えしていきたいと思えます。担任が書くクラスだよりとはまた違った視点で子ども達の良さや学びを書いていけたらいいなと思っています。昨年度から、園長だよりを平田幼稚園ホームページにも載せています。お便りが見られない祖父母の皆様や地域の皆様にも、平田幼稚園の様子を知ってもらえたら嬉しいです。

入園式の次の日の年少児さんは…

入園式の日はおうちの人とずっと一緒だったけれど、翌日からは玄関で「さよなら」をすることになります。「寂しくて泣くかもしれないなあ」「おんぶや抱っこも必要かも・・・」と待ち構えていた私ですが、予想に反してどの子も上ズックを履いてリュックを背負ってスタスタとりんご組の保育室へ・・・様子を見てみると、担任や補助教諭にリュックサックをかける場所やタオルを出して所定の場所へ引っかけること、シール帳にシールを貼ることなど、一つ一つ丁寧に教えてもらって朝の持ち物の始末をしていました。その後は、ブロックやお絵かき、粘土など好きな遊びを見つけっていました。遊んだ後はお楽しみのおやつタイム。自分のコップに牛乳を入れてもらって、おやつ(この日はハッピーターンでした)を配ってもらいました。すぐに食べたい気持ちを我慢し、担任の「みんなでいただきますをするから、それまでは手はお膝にしておいてね」という声掛けを守り、もうすでに『りんご組でのお約束を守ろう』という気持ちが芽生え始めていることを感じました。

長～い廊下の先にある「き組さん」

りんご組からき組に進級し、一つお兄さん・お姉さんになりました。き組の保育室は一番西側にあり、長い廊下を歩いていかななくてはなりません。今までは玄関から最短距離の保育室だったので、登園してから保育室に向かう足取りも少し重くなります。「あ～、長いなあ・・・」と、つい声が出てしまう子もいます。りんご組の保育室にいる年下の子を横目で見て気持ちを切り替えて保育室へ向かう子・・・と、様々です。保育室では、これまでに身に付けた朝の持ち物の片づけやシール貼りなどを自分でしている姿が多く見られました。「もうボク終わったよ」と自慢そうに話す子もいて、進級が成長の節目となり、自信につながっていくことを感じました。天気が良かったので、園庭でのびのびと遊びました。これまでは「お兄さん・お姉さんになってからね」と言われ使えなかった総合遊具に意欲的に取り組み、楽しんでいました。これも成長の一つですね。

幼稚園のリーダーのあお組さん

青い名札を付けて幼稚園の一番年上になったあお組さん。入園式では、式の終了後に年中・年長児で『お祝いの歌と言葉』を披露しました。年長児は姿勢もよく、大きな声で言葉を言い、「待っていたよ」の気持ちを表していました。入園式の次の日、クラスを覗くと、みんなで何やら真剣に話し合っていました。そして、自分の顔を描きだしました。「何にする顔を描いてるの?」と聞くと、「お当番表を作る」という返事。日直やうさぎ当番、掃除当番などがあるようです。幼稚園やクラスのために何をするといいのかわからないので、みんなで考えた当番です。当番の活動をすることで「きれいになって気持ちがいい」「喜んでもらえて嬉しい」という気持ちを味わってほしいと思えます。これから、行事や活動の中で、幼稚園のリーダーとしての役割がたくさん出てくることでしょう。幼稚園みんなのために力を発揮しようという意欲を大切に、自己有用感を育めるように関わっていききたいと思えます。



朝の持ち物の片づけやおやつタイム(年少児)

長い廊下を歩いたり総合遊具で遊ぶ年中児

入園式に参加し、満開の藤の花を発見(年長児)